

今月号の特集テーマは「真菌症」です。通常の抗炎症外用薬治療で改善されないときに、鑑別が重要になる疾患の1つかと思います。皮膚科医の実力が試される領域と言えるかもしれません。8つの症例報告と1つの臨床研究が掲載されています。日常診療に是非お役立ていただければ幸いです。

編集後記では新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の現況についても記載してきましたが、状況はかなり落ち着いてきているようで、少しずつコロナ禍前の日常生活に戻りつつあります。先日（3月6日）は私が所属する大学の卒業式と謝恩会がありました。特に謝恩会は5年振りの開催となり、保護者も参加する盛大な会になりました。私は大学関係者として出席いたしましたが、学生の保護者として中学・高校・大学の同級生が出席しており、久しぶりに楽しい歓談のときを過ごすことができました。やはり、対面での懇親会は素晴らしいなとあらためて感じました。

かなり前の話になりますが、2023年6月20日～23日に私の所属する大学が「医学教育分野別評価」を受審しました。これは日本医学教育評価機構（JACME）が各大学の医学教育の現状を評価するもので、今回は2巡目の評価でした。1巡目は2016年に受審しており、7年後の再評価になりました。前回受審時に指摘された事項をどのくらい改善できたが1つのポイントになるのだと思います。全部で9つの領域があり、領域1は「使命と学修成果」、領域2は「教育プログラム」、領域3は「学生の評価」、領域4は「学生」、領域5は「教員」、領域6は「教育資源」、領域7は「教育プログラム評価」、領域8は「統括および管理運営」、領域9は「継続的改良」です。私は教務部長を務めている関係もあり、領域2、3、6を担当しました。まず、自己点検評価書を作成してJACMEに提出すると、しばらくして質問書が届きます。次に質問事項に対する回答書を作成・提出した後、2023年6月20日～23日に対面での実施調査（面談など）を受けました。領域2は2時間、領域3は1.5時間、領域6は1時間の面談があり、準備を含めてかなりハードな時間を過ごしました。すべては学生により良い医学教育を実施するためと思い対応いたしました。2024年2月1日付けでJACMEのホームページにも認定証が掲載され、ホッとしました。

（佐伯秀久）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第66巻 第4号 4月号

2024年4月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 50,160 円（本体 45,600 円＋税 10%）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。